

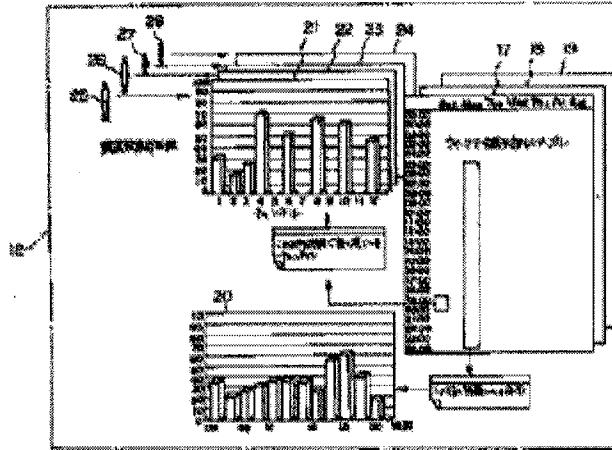
VIDEO DISPLAY DEVICE

Publication number: JP5219455
Publication date: 1993-08-27
Inventor: SAITO MITSUMASA
Applicant: SONY CORP
Classification:
- international: H04N5/44; H04N5/44; (IPC1-7): H04N5/44
- European:
Application number: JP19920040663 19920131
Priority number(s): JP19920040663 19920131

[Report a data error here](#)

Abstract of JP5219455

PURPOSE: To select the operating state suitable for a person with a high probability by selecting and controlling the operating state in response to a set person identification code and operating data collected and stored corresponding to the person identification code. CONSTITUTION: A weekly time table memory 12 has plural tables 17-19, and a time zone when the device is in operation is discriminated and stored by each day of a week. Then the display device is provided with a sound volume memory table 20, in which the reproduction sound volume set for each time zone is stored and with personal memory tables 21-24 corresponding to plural person identification codes 25-28 and the channel selection state when the person identification code is set is stored. Then the input of the person identification codes 25-28 is set by allowing a person using the video signal to select the person identification code corresponding to itself on a catalogue pattern. Then a CPU references the weekly time table memory 12 to set a day of a week a time and a channel selection state in response to the operating data.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

Family list

1 family member for: **JP5219455**

Derived from 1 application

[Back to JP521](#)

1 VIDEO DISPLAY DEVICE

Inventor: SAITO MITSUMASA

Applicant: SONY CORP

EC:

IPC: H04N5/44; H04N5/44; (IPC1-7): H04N5/44

Publication info: **JP5219455 A** - 1993-08-27

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-219455

(43)公開日 平成5年(1993)8月27日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 04 N 5/44

Z 7337-5C

D 7337-5C

審査請求 未請求 請求項の数1(全7頁)

(21)出願番号 特願平4-40663

(22)出願日 平成4年(1992)1月31日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 斎藤 光正

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

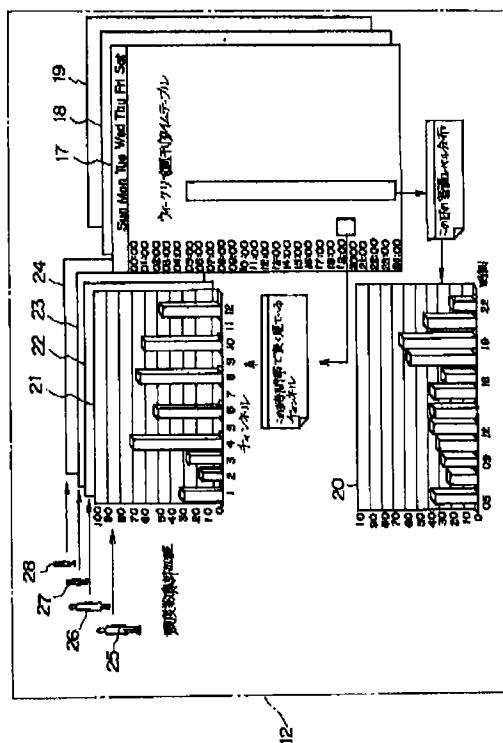
(74)代理人 弁理士 小池 晃 (外2名)

(54)【発明の名称】 映像表示装置

(57)【要約】

【構成】 記憶装置12により、使用者の識別コード25, 26, 27, 28毎に対応させて、時刻、音量、選局等についての動作データを積算して記憶しておき、動作時に設定された識別コード25, 26, 27, 28に対応する動作を選択する。

【効果】 使用者個々の嗜好に対応する動作状態が、高い確率で選択される。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 個人識別コードを設定する設定手段と、動作状態を示す動作データを、設定された個人識別コードに応じて弁別し、該個人識別コードに対応させて集計して記憶する記憶手段と、設定された個人識別コードと、上記記憶手段により該個人識別コードに対応させられて記憶されている動作データとに応じて、動作状態を選択制御する制御手段とを備えてなる映像表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、受信チューナや陰極線管等を有してなる映像表示装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、いわゆるテレビジョン装置、パーソナルコンピュータ装置、ワードプロセッサ装置等の如く、陰極線管等からなる表示部を有してなる映像表示装置が提案されている。

【0003】 このような映像表示装置は、放送電波をチューナにより受信して得られる映像及び音声信号、ビデオテープレコーダやビデオディスクプレーヤ等より出力される映像及び音声信号、あるいは、いわゆるコンピュータグラフィックにより生成される映像信号等を供給され、この映像信号に応じた映像を上記表示部上に表示するように構成されている。

【0004】 このような映像表示装置においては、上記チューナにおける選局操作や、該チューナ及びビデオテープレコーダ等よりの映像信号の供給元（ソース）の選択操作が行えるように構成されている。また、この映像表示装置は、表示映像の輝度や表示態様等の調整及び切換え操作及び上記音声信号に応じた音声の再生における音量の調整操作が行えるように構成されている。

【0005】 このような選局、ソース選択、輝度調整及び音量調整等の操作は、この映像表示装置に設けられた切換えスイッチや調整摘みを用いて、また、リモートコントロール装置を用いた遠隔操作によって、この映像表示装置の使用の都度に手動操作によって行われる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、上述のような映像表示装置における選局、ソース選択、輝度調整及び音量調整等は、この映像表示装置を用いる使用者ごとに、この使用者の嗜好に応じて異なったものとなる。また、この映像信号の使用者が同一の場合であっても、使用する曜日や時間帯に依って、異なったものとなる。

【0007】 例えば、一台のテレビジョン装置を家族が共用しているような場合には、この家族の構成員の個々に応じて、視聴するテレビ番組の嗜好が異なる。すなわち、大人がニュース番組、スポーツ中継番組及び芸能番組等を好むのに対し、子供はアニメーション番組や、あるいは、このテレビジョン装置にいわゆるコンピュータ

10

20

30

40

50

ゲーム装置を接続してコンピュータゲームを行うことを好むといった具合である。

【0008】 そして、これらテレビ番組の嗜好に依つて、家族の構成員毎に、多く選局される放送局の傾向が生じる。これは、放送局によって、ニュース番組や芸能番組を長時間放送したり、アニメーション番組等の子供向け番組を長時間放送する等の番組編成の傾向があるからである。また、家族の構成員毎に、このテレビジョン装置を多く使用する時間帯の傾向が生じている。すなわち、大人が夜間において多くテレビ番組の視聴を行うのに対し、子供は昼間に多くテレビ番組の視聴を行うといった具合である。さらに、このテレビジョン装置においては、使用者が家族の構成員の誰であるか及び使用の時間帯に応じて、再生音量の調整値の傾向が生じる。

【0009】 そのため、このテレビジョン装置においては、昼間に子供が使用していた後、夜間になって大人が使用しようとするときには、選局、ソース選択、音量調整等の種々の切換え、選択及び調整操作を行う必要が生じている。このように、複数の使用者による共用される映像表示装置においては、一の使用者が使用した後に、他の使用者が使用するときには、種々の切換え、選択や調整等が必要とされる場合が多く、操作が煩雑となっている。

【0010】 そこで、本発明は、上述の実情に鑑みて提案されるものであって、使用者及び使用の時間帯等に応じて、種々の切換え、選択及び調整操作等が自動的に行われ、使用に際しての操作が簡略化された映像表示装置を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】 上述の課題を解決し上記目的を達成するため、本発明に係る映像表示装置は、個人識別コードを設定する設定手段と、動作状態を示す動作データを設定された個人識別コードに応じて弁別し該個人識別コードに対応させて集計して記憶する記憶手段と、設定された個人識別コードと上記記憶手段により該個人識別コードに対応させられて記憶されている動作データとに応じて動作状態を選択制御する制御手段とを備えてなるものである。

【0012】

【作用】 本発明に係る映像表示装置においては、制御手段は、設定手段により設定された個人識別コードと、個人識別コードに応じて弁別され該個人識別コードに対応されて集計、記憶されている動作データとに応じて、動作状態を選択制御するので、高確率で、設定された個人識別コードに対応する個人に適合した動作状態が選択される。

【0013】

【実施例】 以下、本発明の具体的な実施例を図面を参照しながら説明する。本発明に係る映像表示装置は、図1に示すように、映像表示部を構成する陰極線管5を有し

ている。この陰極線管5には、図示しない映像信号入力端子より入力され、または、チューナ2により得られた映像信号が、映像信号処理回路2及び加算器4を介して供給される。上記映像信号入力端子には、ビデオテープレコーダ、ビデオディスクプレーヤ、コンピュータ装置、ワードプロセッサ装置等、映像信号を出力する種々の機器が接続される。

【0014】上記チューナ2は、アンテナ1を介して種々の放送電波を選局して受信し、該放送電波より映像信号及び音声信号を復調するように構成されている。上記映像信号処理回路3は、上記映像信号に所定の信号処理を施し、上記陰極線管5において良好な映像が表示できるような信号となる。上記加算器4は、上記映像信号処理回路3により信号処理された映像信号と、後述するキャラクタージェネレータ10より送られるキャラクタ映像信号とを加算して、上記陰極線管5に送る。

【0015】上記陰極線管5は、略々平坦な矩形の表示面部5aを有して構成され、この表示面部5aに、供給される映像信号に応じた映像を表示する。

【0016】そして、上記映像信号処理回路3に入力される映像信号は、この映像信号処理回路3に入力される前に分岐されて、同期分離回路6にも供給される。この同期分離回路6は、上記映像信号より、水平同期信号H及び垂直同期信号Vを分離し、これら水平同期信号H及び垂直同期信号Vを、設定手段及び制御手段を構成するCPU(中央情報処理装置)7に供給する。

【0017】上記CPU7には、受信器14及びリモコンコードデコーダ13を介して、図示しない遠隔操作装置(リモートコントローラ)より遠隔操作信号が送られる。この遠隔操作装置は、種々の切換えスイッチや調整摘みを有してなり、種々の入力操作が可能に構成されている。この遠隔操作装置においてなされる入力操作は、上記チューナ2における選局操作、該チューナ2と上記映像信号入力装置との切換え等を行うソース選択操作、再生音量の調整操作等、及び、後述する個人識別コードの設定操作である。この遠隔操作装置は、上記各スイッチや摘みに対する操作に応じた操作信号を生成し、さらに、この操作信号を赤外線や超音波等の高周波数の搬送波に重複し変調して、遠隔操作信号として放射する。上記受信器14は、上記遠隔操作信号を受信し、電気信号に変換する。上記受信器14の出力信号は、上記リモコンコードデコーダ13に送られる。このリモコンコードデコーダ13は、上記受信器14より送られた信号を復調して、上記操作信号となし、上記CPU7に送る。

【0018】また、上記CPU7には、キーボード16及びキーコードデコーダ15を介して、操作信号が送られる。このキーボード16は、種々のキースイッチや調整摘みを有して種々の入力操作が可能に構成され、この映像表示装置内に配設される。このキーボード16においてなされる入力操作は、上記チューナ2における選局

操作、該チューナ2と上記映像信号入力装置との切換え等を行うソース選択操作、再生音量の調整操作等、及び、後述する個人識別コードの設定操作である。このキーボード16は、これらキースイッチや摘みに対する操作に応じた信号を生成し、上記キーコードデコーダ15に送る。このキーコードデコーダ15は、上記キーボード16より送られた信号を復調して、上記操作信号として、上記CPU7に送る。

【0019】さらに、上記CPU7には、時計装置11より、曜日及び時刻を示す時刻信号が送られている。

【0020】そして、上記CPU7は、上記リモコンコードデコーダ13、上記キーコードデコーダ15及び上記時計装置11より入力される信号に基づく後述する信号処理の結果に応じて、上記チューナ2、記憶手段となるウェーブリータイムテーブルメモリ12、メニューデータコントローラ8及びカーソルデータコントローラ9を制御する。このCPU7による上記チューナ2の制御は、選局、音量調整及びこのチューナ2と上記映像信号入力端子とを選択するソース選択等について行われる。

【0021】上記メニューデータコントローラ8は、図4に示すような、この映像表示装置の動作状態を選択するための目録画面の内容に相当する信号を生成し、上記キャラクタージェネレータ10に送る。このキャラクタージェネレータ10は、送られた信号を映像信号となし、上記加算器4を介して上記陰極線管5に送る。上記CPU7は、上記遠隔操作装置または上記キーボード16により、上記目録画面を表示させる操作がなされたときには、上記チューナ2及びこのメニューデータコントローラ8を制御して、上記表示面部5a上に上記目録画面を表示させる。この目録画面としては、電源投入や目録画面の表示の解除等の操作を行うためのエクスターナルコントロール画面40、選局操作やその他の数値入力を行うためのテンキー画面41、ソース選択操作及び選局操作を行うためのソース選択画面43、再生音量や音質の調整を行うためのオーディオコントロール画面46、及び、映像表示の態様を選択するための映像レイアウト選択画面48等がある。映像表示の態様とは、上記表示面部5aを複数の領域に分割して複数の映像を表示する場合等における、該分割の位置や分割数のことである。これら各目録画面は、これら目録画面に対応した複数の目録選択表示29, 30…38, 39を選択指定することにより、選択されて表示される。

【0022】なお、上記各目録画面は、上述のような各目録画面が同時に上記表示面部5aに表示されるようにしてもよく、また、上記複数の目録選択表示29, 30…38, 39が選択指定されたときに選択された目録選択表示に相当する目録画面のみが上記表示面部5aに表示されるようにしてもよい。

【0023】また、上記カーソルデータコントローラ9は、上記目録画面上におけるカーソル位置を示す信号を

生成し、上記キャラクタージェネレータ10に送る。このキャラクタージェネレータ10は、送られた信号を映像信号となして、上記加算器4を通して上記陰極線管5に送る。上記CPU7は、上記遠隔操作装置または上記キーボード16により、上記カーソルを表示及び移動させる操作がなされたときには、上記チューナ2及びこのカーソルデータコントローラ9を制御して、上記表示面5a上に上記カーソルを表示させる。このカーソルは、上記複数の目録選択表示を選択指示したり、選択された目録画面上において種々の項目やコードを選択指定するために用いられる。

【0024】そして、上記ウェイクリータイムテーブルメモリ12は、図3に示すように、種々のデータを弁別し集計して記憶できるように構成されている。すなわち、このウェイクリータイムテーブルメモリ12は、複数のウェイクリーメモリテーブル17, 18, 19を有している。これらウェイクリーメモリテーブル17, 18, 19においては、この映像表示装置が動作された時間帯が曜日毎に弁別されて記憶される。そして、このウェイクリータイムテーブルメモリ12は、上記各ウェイクリーメモリテーブル17, 18, 19に対応して、音量メモリテーブル20を有している。この音量メモリテーブルにおいては、時間帯毎に設定された再生音量値が記憶される。そして、このウェイクリータイムテーブルメモリ12は、複数の個人識別(パーソナル)コード25, 26, 27, 28に対応したパーソナルメモリテーブル21, 22, 23, 24を有している。このパーソナルメモリテーブル21, 22, 23, 24においては、対応する個人識別コードが設定されているときの選局状態が記憶される。なお、この映像表示装置が上記個人識別コードが設定されずに動作されたときの選局状態を記憶するため、上記各パーソナルメモリテーブルのうちの一は、ゼネラルパーソナルメモリテーブルとなされている。

【0025】この映像信号を使用するときには、まず、電源スイッチを投入し、続いて、上記目録画像を表示させ、上記遠隔操作装置または上記キーボード16を用いて種々の入力操作を行うことにより、上記選局操作、上記ソース選択操作、上記音量及び音質調整操作、映像の輝度調整操作等を行う。また、このとき、上記遠隔操作装置または上記キーボード16によって、上記各個人識別コード25, 26, 27, 28の入力設定を行うことができる。これら個人識別コード25, 26, 27, 28は、例えばこの映像表示装置を一家族にて共用する場合に、第1の個人識別コード25を父に、第2の個人識別コード26を母に、第3の個人識別コード27を息子に、第4の個人識別コード28を娘にというように、該家族の構成員にそれぞれ対応させておく。そして、これら個人識別コード25, 26, 27, 28の入力設定は、この映像信号を使用している人が、自身に対応する

個人識別コードを目録画面上で選択して入力することにより行われる。なお、この個人識別コードは、同時に2個以上を選択して設定することも可能である。

【0026】この映像表示装置においては、上記CPU7は、図2に示すフローチャートに従った動作を行う。すなわち、ステップst1において、この映像表示装置が作動されると、上記CPU7も作動され、ステップst2に進む。また、このとき、上記CPU7は、上記ウェイクリータイムテーブルメモリ12を制御し上記ウェイクリーメモリテーブルの一を用いて、この映像表示装置の作動時間帯を曜日に対応させた記憶を開始する。また、このCPU7は、上記ウェイクリータイムテーブルメモリ12を制御し上記音量メモリテーブル20によつて、このときの再生音量の設定値の時間帯に対応させた記憶を開始する。

【0027】上記ステップst2においては、上記CPU7は、パーソナルエントリー、すなわち、上記遠隔操作装置または上記キーボード16において上記個人識別コードの入力設定があったか否かを判別する。パーソナルエントリーがあった場合には、ステップst3に進み、パーソナルエントリーがなかった場合には、ステップst5に進む。

【0028】上記ステップst3においては、上記CPU7は、同一選局状態、すなわち、同一チャンネルの放送局の受信または同一ソースよりの映像信号の入力が所定時間Nに亘って継続されたか否かを判別する。この時間Nは、例えば、1分乃至3分程度の時間であつて、適宜定められる。同一選局状態が所定時間Nに亘って継続されたときにはステップst4に進み、同一選局状態が所定時間Nに亘って継続されなかつたときには上記ステップst2に戻る。

【0029】上記ステップst4においては、上記CPU7は、上記ウェイクリータイムテーブルメモリ12を制御し、設定された個人識別コードに対応するパーソナルメモリテーブルによって、上記ウェイクリーメモリテーブルへの記憶が続行されている作動時間帯に対応させながら、受信チャンネル等の選局状態を記憶する。そして、上記CPU7は、上記ステップst2に戻る。

【0030】上記ステップst5においては、上記CPU7は、同一選局状態が所定時間Nに亘って継続されたか否かを判別する。同一選局状態が所定時間Nに亘って継続されたときにはステップst6に進み、同一選局状態が所定時間Nに亘って継続されなかつたときには上記ステップst2に戻る。

【0031】上記ステップst6においては、上記CPU7は、上記ウェイクリータイムテーブルメモリ12を制御し、上記ゼネラルパーソナルメモリテーブルによつて、上記ウェイクリーメモリテーブルへの記憶が続行されている作動時間帯に対応させながら、受信チャンネル等の選局状態を記憶する。そして、上記CPU7は、上

記ステップs t 2に戻る。

【0032】この映像表示装置においては、上記CPU 7が上述のような動作を繰り返すことにより、上記ウィークリータイムテーブルメモリ12には、上記各個人識別コードに対応づけられた動作データ、すなわち、曜日、作動時間帯、選局状態、再生音量設定値等についてのデータが集計されて記憶されてゆく。

【0033】そして、この映像表示装置においては、上記CPU 7は、上記ウィークリータイムテーブルメモリ12に記憶された動作データと、上記時刻信号により示される現在曜日及び現在時刻とに基づいて、上記チューナ2等を制御する。

【0034】すなわち、この映像表示装置の作動が開始されたとき、上記CPU 7は、上記ウィークリータイムテーブルメモリ12に既に動作データが記憶されている場合には、この記憶されている動作データのうちの現在曜日及び現在時刻に相当する動作データを参照する。そして、このCPU 7は、現在曜日及び現在時刻に相当する動作データに倣った状態となるように上記再生音量等を設定する。

【0035】また、このとき、上記パーソナルエンタリーがあった場合には、上記CPU 7は、上記ウィークリータイムテーブルメモリ12に記憶されている動作データのうち、現在曜日及び現在時刻に相当し、かつ、設定された個人識別コードに対応するパーソナルメモリテーブルに記憶された動作データを参照する。そして、このCPU 7は、現在曜日、現在時刻及び設定された個人識別コードに相当する動作データに倣った状態となるように上記選局状態を設定する。なお、上記パーソナルエンタリーがない場合には、上記CPU 7は、上記ウィークリータイムテーブルメモリ12に記憶されている動作データのうち、現在曜日及び現在時刻に相当し、かつ、ゼネラルパーソナルメモリテーブルに記憶された動作データを参照する。そして、このCPU 7は、現在曜日、現在時刻及びゼネラルパーソナルメモリテーブルの記憶に相当する動作データに倣った状態となるように上記選局状態を設定する。

【0036】なお、この映像表示装置の動作開始後における上記個人識別コードに応じた上記CPU 7による動作状態の制御は、電源投入後の所定時間内、例えば30秒乃至1分程度以内に個人識別コードの入力があった場合にのみ行うことことができる。動作の継続中に個人識別コードの入力設定があったときに、動作状態が

変更されてしまっては不都合な場合があるからである。

【0037】また、上記CPU 7は、上記ウィークリータイムテーブルメモリ12に記憶されている動作データと現在曜日及び時刻に応じて、複数の選局チャンネルに相当する映像を順次一定時間ずつ上記陰極線管5により表示させることができる。さらに、上記CPU 7は、上記ウィークリータイムテーブルメモリ12に記憶されている動作データと現在曜日及び時刻に応じて、上記目録画面のソース選択画面43における選局番号の順序を使用頻度の多い順に並べ換えたり、当該時間において選局される頻度の高い選局チャンネルの番号を上記陰極線管5により表示させることができる。

【0038】

【発明の効果】上述のように、本発明に係る映像表示装置においては、制御手段は、設定手段により設定された個人識別コードと、個人識別コードに応じて弁別され該個人識別コードに対応されて集計、記憶されている動作データとに応じて、動作状態を選択制御する。

【0039】そのため、この映像表示装置においては、高い確率で、設定された個人識別コードに対応する個人に適合した動作状態が自動的に選択される。この動作状態とは、チューナにおける選局、該チューナやビデオオーディオレコーダ等のソース選択及び再生音量等についての切換え、選択及び調整等の状態である。

【0040】すなわち、本発明は、使用者及び使用の時間帯等に応じて、種々の切換え、選択及び調整操作等が自動的に行われ、使用に際しての操作が簡略化された映像表示装置を提供することができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る映像表示装置の構成を示すブロック図である。

【図2】上記映像表示装置の動作を説明する流れ図である。

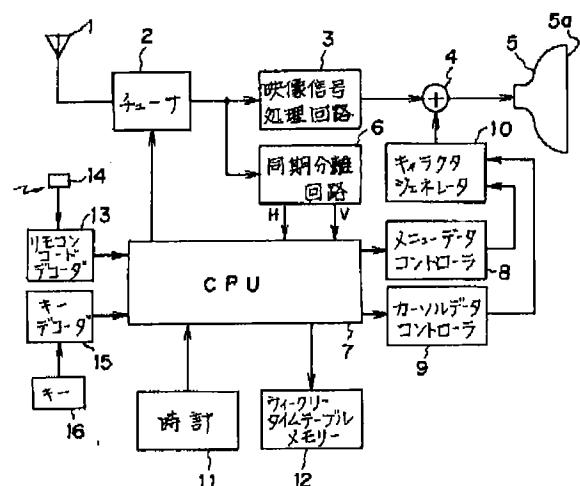
【図3】上記映像表示装置の記憶手段における動作データの記憶の状態を説明する模式図である。

【図4】上記映像表示装置において表示面部に表示される動作選択用の目録を示す正面図である。

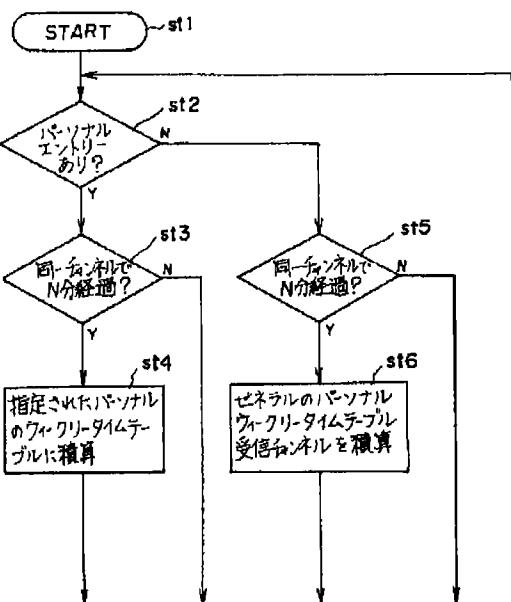
【符号の説明】

- | | | |
|----|-------|------------------|
| 2 | | チューナ |
| 5 | | 陰極線管 |
| 7 | | CPU |
| 12 | | ウィークリータイムテーブルメモリ |

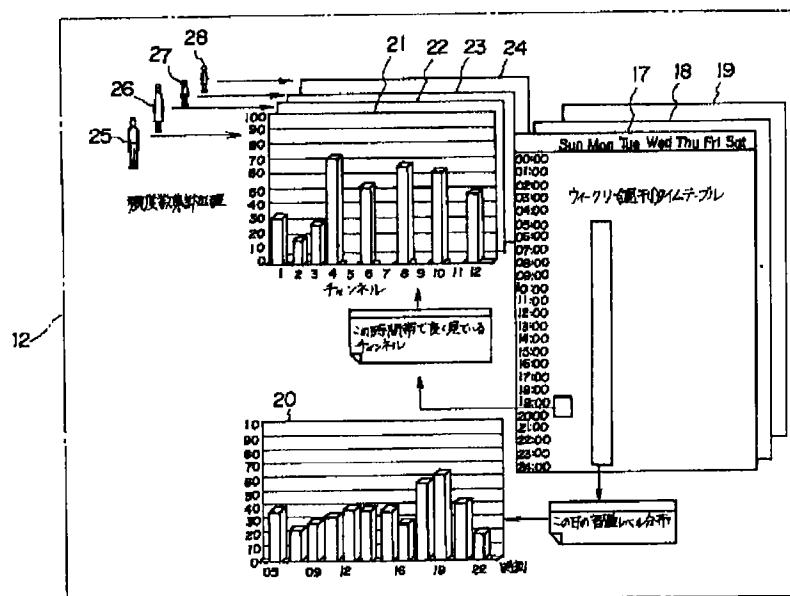
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

